

令和7年度

「運営に関する計画」



大阪市立加美小学校

令和8年2月

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【安全・安心な教育の推進】

- 小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を**80%以上**にする。
- 小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答する児童の割合を**86%以上**にする。
- 年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を**前年度より減少**させる。
- 年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を**増加**させる。

【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】

- 小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を**70%以上**にする。

【基本的な方向2 豊かな心の育成】

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と回答する児童の割合を**40%以上**にする。
- 小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、毎年度、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も**前年度より1ポイント向上**させる。
- 小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を**82%以上**にする。
- 小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を**77%以上**にする。

【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】

【健やかな体の育成】

- 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する児童の割合を**65%以上**にする。

【基本的な方向5 健やか体の育成】

【学びを支える教育環境の充実】

- 授業日において、児童の**8割以上**が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の**30%以上**にする。
- 時間外勤務時間上限基準の達成率を**基準1「60%」基準2「90%」**を保つ。

【基本的な方向6 教育DXの推進】

【基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】

3 本年度の自己評価結果の総括

【安心安全な教育の推進】【未来を切り拓く学力・体力の向上】【学びを支える教育環境の充実】の3つの視点に基づく、各年度目標については、概ね達成できたが、新たに課題が見つかったもの、わずかながら目標値に達していないものもあり、来年度にも課題を残す結果となった。

【安心安全な教育の推進】について、概ね年度目標を達成できた。特に、「学校のきまり」については全教職員で見直しを図り、服装のルールについて明確化するとともに簡易化することができた。また、昨年度同様、人権意識を高めるために、年間3回の共通題材を活用した授業を行うことができた。いじめアンケートを計画的に実施して、いじめ事案の把握と100%解消を目指した。しかしながら、2学期にいじめ重大事態が起きた。これに関しては、教育委員会に報告するとともに、早急にいじめ対策委員会を立ち上げ、全教職員で情報共有・対策を講じた。現在も、経過観察中である。また、不登校児童及び登校渋りの児童が昨年度と比較すると増加した。子どもサポートネットやスクールカウンセラー・こども相談センター・平野区子育て支援室等の専門機関とも連携し、登校への働きかけに努めているが、なかなか改善していない。さらなる家庭への啓発や支援が必要である。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】について、概ね年度目標を達成できた。とりわけ「全国学力・学習状況調査」では昨年度と比較しても大きく改善された。これは、3年間に及ぶ国語科の研究の成果といえる。基礎基本の学習内容の定着を図りつつ、自分の考えをもち、それを表現できる児童を主体的・対話的な学びを通して育成してきた。結果、子どもたちの思考力・表現力を高め深い学びを実現することにつながった。また、「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の結果によると、総合評価でD・E判定（下位層）の児童が男女ともに全国平均を大きく上回ってしまった（男子…全体の58.8% 女子…全体の56.3%）。質問紙では、1週間の総運動時間が0分の児童が15%いることも分かった。運動をすることの楽しさを味わうことができるように、体育科学習の改善と体育的行事の見直しが喫緊の課題といえる。校内アンケートでは、手洗いをしている児童が増えてきたが、ハンカチを携行していないことが分かった。衛生面の課題が明らかになった。ハンカチ・ティッシュの携行について、保健だよりや学年だより等を活用して、保護者へも呼びかけをしていく。

【学びを支える教育環境の充実】については、昨年度と比較するとICT機器を活用する日が増えた。しかしながら、目標を達成はできなかった。本年度は、大阪市総合教育センターからICT支援員を講師に招き、研修を2回実施することができた。来年度も継続して、ICT機器を有効に活用できるように工夫していく。また、教職員の働きやすい環境づくりとして、ゆとりの日を週1回設定・実施したり、校時表の見直しをしたりすることができた。その結果、時間外労働時間数を昨年度と比較しても大幅に減少させることができた。しかしながら、職員会議で提案する内容に不備がある等、教職員の連携といった面で課題が浮き彫りになったり、家庭への持ち帰り仕事が依然として多かったりしている。学校協議会をはじめ、PTA代表委員会や地域活動協議会に学校関係者も参加することで、家庭・地域・学校が協力連携して、子どもたちが安心して生活できる環境の構築に尽力することができた。これからも継続して、取組を進めていく。

大阪市立加美小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】</p> <p>○小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。(R6 78.7 → R7 82.0)</p> <p>○小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答する児童の割合を86%以上にする。(R6 80.2 → R7 83.8)</p> <p>○<u>年度末</u>の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。(R6 1.6 → R7 3.3)+1.7</p> <p>○<u>年度末</u>の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。</p> <p style="text-align: right;">未達成</p> <p style="text-align: center;">【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>○小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を70%以上にする。(R6 71.4 → R7 80.7)</p> <p style="text-align: right;">【基本的な方向2 豊かな心の育成】</p>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向1 安全・安心な教育の推進】</p> <p>生活指導部を中心に児童が主体的に行動できる取組を行う。</p>	A
<p>指標: 学校のきまりを年間2回以上見直す機会を設けたり、3つの柱(挨拶/清掃/身だしなみ)の生活目標を提示し、朝会等で生活指導に関する声かけを行ったりする。校内アンケートで「学校のきまりを守ることができているか」も項目で肯定的に回答する児童の割合を75%以上にする。(R7 77%)</p>	
<p>取組内容②【基本的な方向2 豊かな心の育成】</p> <p>自分理解・他者理解の深化を図り「共に学び・育ち・生きる教育」を推進する。</p>	B
<p>指標: 人権教育・国際理解教育・特別支援教育の研修を年間3回以上実施する。</p>	
<p>取組内容③【基本的な方向2 豊かな心の育成】</p> <p>いじめ事案や不登校傾向になりそうな児童を確実に認知して、組織的に対応する。</p>	B
<p>指標: 月に一度、生活指導連絡会を開催するとともに、いじめアンケートを年間3回実施して、いじめ事案の解消を100%にする。(R7 51件→全て解消及び経過観察中)</p>	
<p>取組内容④【基本的な方向2 豊かな心の育成】</p> <p>全ての児童が活躍する場を設定し、児童が自分のよいところを実感できる学級活動や異学年交流等の特別活動を実施する。</p>	B
<p>指標: 年間を通して、学級で友達のいいところを紹介し合ったり、各行事後に振り返り活動を設定したり、校内表彰を学期に2回以上行ったりする。</p>	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

取組内容①

学校のきまりについては、見直しを行い、教職員間で共通理解を図り、児童や保護者への発信に努めてきた。校内アンケート「学校のきまりを守ることができている」の項目では、肯定的に回答する児童の割合が77%であった。

取組内容②

教職員の人権意識・規範意識を高めるために研修を行ってきた。また、学校全体の取組として、共通の教材を活用し、学年の実態に応じた学習にも3回以上取り組んだ。

取組内容③

いじめ事案については、重大事態のある学年があった。学校長をはじめ、教職員全員で事案を共有し、いじめ対策委員会を開き、解消に向けて動いてきた。引き続き教職員がチームとなって、児童が安心して過ごせる環境づくり・人間関係づくり等に努めていく。小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」の項目では、「そう思う」と回答する児童の割合が83.8%であった。また、不登校児童については、在籍比率が前年度より+1.7%と増加してしまった。さらに、前年度不登校児童の改善にも至らなかった。

取組内容④

年間を通して、各学級・学年で、係活動、いいところ見つけ等、児童が活躍する活動や取組を行った。小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか」の項目では、肯定的に回答する児童の割合が80.7%であった。

来年度へ向けて

生活指導について

学校のきまりについては、必要に応じて見直しを行い、児童が安全・安心して過ごすための基準作りを行い、全教職員で同じように指導に努めていく。

看護当番（登校時や休み時間の見守り、安全指導等）の仕組みについて見直しを行い、児童の様子や実態把握の徹底がよりできるように取り組んでいく。

不登校児童・登校渋り児童について

不登校児童への支援体制・教室環境の設定を検討するとともに、保護者と連携しながら状況が改善していくよう努めていく。

人権教育について

人権教育、国際理解教育、特別支援教育について、教職員の意識・資質向上に向けて、引き続き研修を計画的に企画・実施していく。

異学年交流について

児童がいきいきと自主的に活動できる機会をつくるために、たてわり活動の見直しを行い、異学年交流のもち方を工夫していく。

大阪市立加美小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準 A:目標を上回って達成した	B:目標どおりに達成した
C:取り組んだが目標を達成できなかった	D:ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <p>○小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と回答する児童の割合を40%以上にする。(R6 30.2 →R7 35.3)</p> <p>○小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、<u>毎年度</u>、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント向上させる。(R6 全学年未達成 → R7 全学年未達成)</p> <p>○小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を82%以上にする。(R6 60.5 →R7 86.9)</p> <p>○小学校学力経年調査における「外国語(英語)の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を77%以上にする。(R6 65.8 →R7 56.8)</p> <p style="text-align: center;">【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>○小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する児童の割合を65%以上にする。(R6 63.7 →R7 86.1)</p> <p style="text-align: right;">【基本的な方向5 健やかな体の育成】</p>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>国語科を中心に、話し合い活動を取り入れた授業を実施する。</p>	A
<p>指標: 校内アンケートで「話し合い活動を通じて、自分の考えを深めたり広げたりすることができたか」に対して、肯定的な回答をする児童の割合を40%以上にする。(R7 59%)</p>	
<p>取組内容②【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>校内で研究授業や研修会を実施したり、他校の授業や研修に参加したりする。</p>	A
<p>指標: 一人1回以上の公開授業を実施するとともに、授業力の向上に関する研修を年間5回以上行う。</p>	
<p>取組内容③【基本的な方向5 健やかな体の育成】</p> <p>基本的な生活習慣が身に付くように、健康教育を実施する。</p>	C
<p>指標: 校内アンケートで「ハンカチ・ティッシュを携行しているか」「手洗いをしているか」に対して、肯定的な回答をする児童の割合を80%以上にする。(R7 65%)</p>	
<p>取組内容④【基本的な方向5 健やかな体の育成】</p> <p>運動能力・運動習慣の向上を目指した研修や体育的行事を年間3回以上実施する。</p>	B
<p>指標: 校内アンケートで「運動することや外遊びが好きですか」に対して、肯定的な回答をする児童を70%以上にする。(R7 76%)</p>	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

取組内容①

研究に力を入れ、子どもたちの話し合い活動が増えたことで、「自分の考えを深めたり広げたりすることができたか」という問いの回答が、30%から 59%になり、目標の 40%を大きく上回った。そのため来年度は、目標をもう少し（40%から 65%）にあげてはどうかと思う。

取組内容②

計画的に取り組むことができた。

取組内容③

「手洗いをしているか」に対する回答は 80%を上回ったが、「ハンカチ・ティッシュを携行しているか」に対する回答は 65%で 80%を大きく下回った。手洗いをしているが、ハンカチで拭けていない児童が多数いることが分かった。ラッキーハンカチの取組は効果が見られたクラスもあったため、取組方法を工夫して継続する。

取組内容④

全体やメンターで様々な研修に取り組むことができ、研修で学んだことを生かした体育科学習の取組等へもつながった。また、PTA の協力の基、一輪車や竹馬を新しく設置することができた。さらに、体育的行事で運動会の種目を工夫したり、なわとび週間を設けたりすることで、運動に親しむ児童が増えた。これらの取組から、運動が好きな児童の肯定的な回答が 76%に達することができた。

来年度へ向けて

研究について

職員の意識を高めることが重要である。そこで、校外の研修に積極的に出向き、共有し合うことで子どもの見方や指導力、授業力の向上を図っていく。また、研修会等での研修会に参加した際には、参考になりそうなワークシートやレジュメを配布し、全教職員で共有することが大切である。「参加する→学ぶ→共有する」というサイクルで、本校教職員の意識を高め合えるようにする。そのために、全市で決まっている「第3金曜日 研究の日」等を活用する。

保健について

手洗いをしているが、ハンカチで拭けていない児童が多数いる現状から、まずはハンカチの携行を 80%以上にする。

- ①学年だよりやミマモルメ等で保護者等へ啓発活動をする。
- ②ハンカチチェックを各クラスで確認したり委員会活動で呼びかけたりして、状況を把握できるようにする。
- ③ラッキーハンカチを各クラスでも取り組んだり、ハンカチ遊びをする時間を取り入れたりする等、クラスや学年で手洗いやハンカチ携行に関する取組を行い共有する。

体育について

校内で実技研修を行い、質の高い体育の授業が行えるよう指導力の向上を図る。

- ①伝達研修に継続して取り組む。
- ②ジャンピングボードの設置数や時期を増やしたりバスケットゾーンを整えたりして、運動しやすい環境を整える。

大阪市立加美小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】</p> <p>○授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の30%以上にする。(R6 2.8% → R7 29.3%)</p> <p>【基本的な方向6 教育DXの推進】</p> <p>○時間外勤務時間上限基準の達成率を基準1「60%」基準2「90%」を保つ。(R7 達成)</p> <p>【基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】 (R6 77.7% → R7 80.8%)</p>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向6 教育DXの推進】</p> <p>デジタルドリル等を活用した課題に取り組ませる。</p> <p>指標:「心の天気」を入力する習慣を身に付けさせる。デジタルドリルやスカイメニュー等のアプリを活用した授業を実施したりする。(週4回以上一人一台端末を活用)</p>	C
<p>取組内容②【基本的な方向7 人材確保・育成としなやかな組織づくり】</p> <p>働き方改革を推進する。</p> <p>指標: ゆとりの日を週1回設定する。</p>	B
<p>取組内容③【基本的な方向9 家庭・地域等と連携・協働した教育の推進】</p> <p>学校協議会を中心に特色ある取組を進める。</p> <p>指標: 学習参観や加美ふれあい広場、地域挨拶運動等を計画・実施する。</p>	A

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

取組内容①

昨年度よりは大きく向上したが、年度目標は達成できなかった。心の天気やデジタル活用のばらつきをどう解消していくかが重要。

取組内容②

本年度は、校時変更を行い、昨年度より20分ほど長く放課後の時間を設けることができた。毎週1回のゆとりの日を設定することはできた。また、時間外勤務時間上限基準は、80.85%と昨年よりも向上した。しかしながら、個人情報持ち出し簿では、毎週末持ち帰り仕事をしている教職員が依然として多いことがわかる。

取組内容③

地域、PTAとの取組の充実を図ることができた。とりわけ、本年度は、平野区から地域の挨拶運動と図書館ボランティアの表彰があった。

来年度に向けて

教育DXについて

心の天気については、全ての学級が朝のルーティンに組み込み、入力することを日常化する。そのために、掲示物を活用し、教員の声掛けを行い、朝の放送の文言に入力を促す言葉を組み込む等する。また、デジタルドリルの活用については、研修等を行い、活用することでの便利さを教員が感じられるようにする。

さらなる校時変更を行うことで、教職員が働き甲斐をもてる職場環境を整える。

家庭・地域との連携について

このまま継続して、取組を進めていく。

児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査の結果から明らかになった現状

1 令和7年度の調査結果の概要

区分	結果
①暴力行為の発生件数(件)	0
②いじめの認知件数(件)	(~12月)51件
②いじめの現在の状況で「解消しているもの」の件数の割合(%)	100%
③小・中・義務教育学校における不登校児童生徒数(人)	15人

2 自校の取組の成果と課題

区分	成果と課題
①暴力行為の状況等	児童のけんかはあったが、暴力にあたる行為はなかった。日々の学級指導及び人権教育の充実が要因と考える。
②いじめの状況等	5月にいじめ・命の大切さについての校長講和を実施した。SNSの使い方についても啓発する手紙を配布するなど、トラブルの未然防止へ務めた。また、学期に1回いじめアンケートを実施して、いじめ事案の把握に努めている。しかしながら、11月にいじめ重大事態が起こった。早急に教育委員会への報告、関係児童の家庭へ連絡するとともに、いじめ対策委員会を立ち上げて、情報共有及び児童の見守りを図った。現在も経過観察中である。
③小・中・義務教育学校における不登校の状況等	前年度と比較して、不登校児童比率が1.7と増加した。電話連絡や家庭訪問、放課後登校、タブレット端末を活用した学習保障などを講じているが、なかなか改善が見られない。しかしながら、少しずつではあるが、別室登校（校長室登校）ができるようになった児童も数名いる。



令和7年度 運営に関する計画・評価と令和8年度の展望

大阪市立加美小学校

令和8年2月
学校協議会・保護者・地域用資料

「子どもの笑顔のある学校」を目指して

学校目標



1. 安心安全な教育
の推進



2. 未来を切り拓く
学力と体力の向上



3. 学びを支える
教育環境の充実

本年度の成果と課題を振り返り、来年度に向けた新たなアクションプランをご報告します。



1. 安心安全な教育の推進

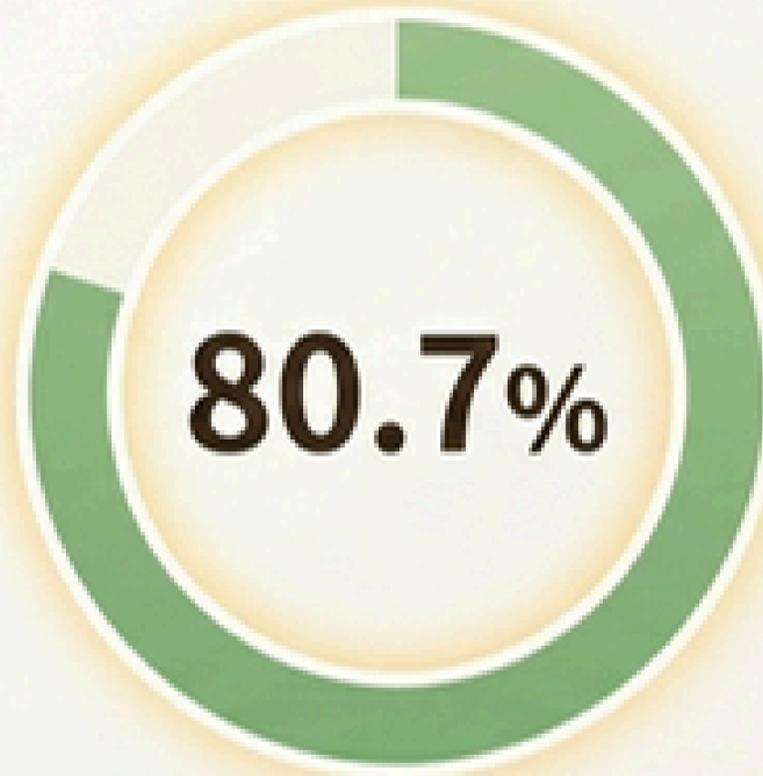
心の安定と規律ある学校生活

【指標評価】 児童の意識と規律の定着



学校に行くのが楽しい
(目標 >80% 達成)

昨年度 (78.7%) から向上



自分にはよいところがある
(目標 >70% 達成)

昨年度 (71.4%) から大幅アップ



学校のきまりを守れている
(目標 >75% 達成)

【成果】 ルールの見直しと自己肯定感の向上

● 学校のきまりの適正化

全教職員でルールを見直し。特に服装ルールの明確化・簡易化を実施し、遵守率が向上しました。

● 人権教育の充実

年間3回の共通題材を活用した授業・研修により、児童の規範意識と自尊感情が高まりました。



【課題】 いじめ・不登校への対応

● いじめに対する意識

「いじめは絶対にいけない」の回答は83.8%（目標86%未達）。

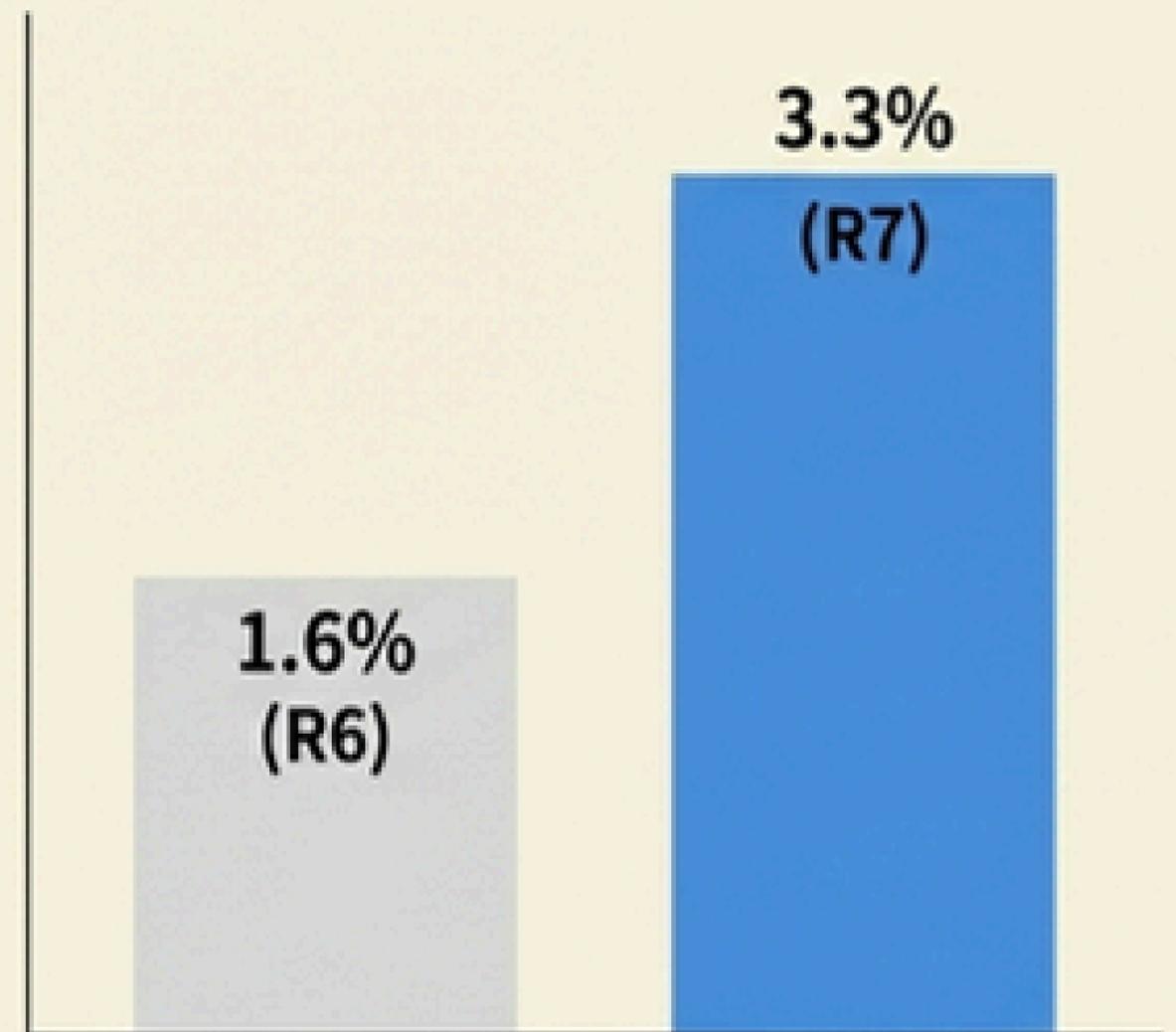
● 重大事態の発生

2学期にいじめ重大事態が発生。対策委員会を立ち上げ、現在も経過観察中です。

● 不登校の増加

不登校・登校渋りの児童が増加傾向にあります。

Non-attendance Rate



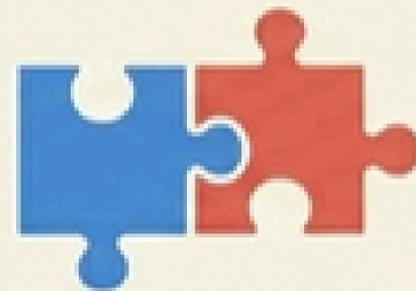
【令和8年度に向けて】見守りつつながりの強化

生活指導：
看護当番の改革



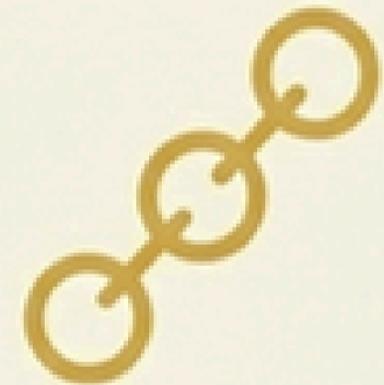
登校時や休み時間の見守り・安全指導の仕組みを再構築し、児童の細かな変化を見逃さない体制を作ります。

不登校支援：
専門機関との連携深化



スクールカウンセラー等と連携しつつ、教室環境の設定を再検討し、保護者との協力を深めます。

人間関係：
たてわり活動の見直し



異学年交流を活性化させ、安心して過ごせる人間関係づくりを促進します。



2. 未来を切り拓く学力と体力の向上

確かな学力と健やかな体の育成

【指標評価】 対話する力と運動への意欲

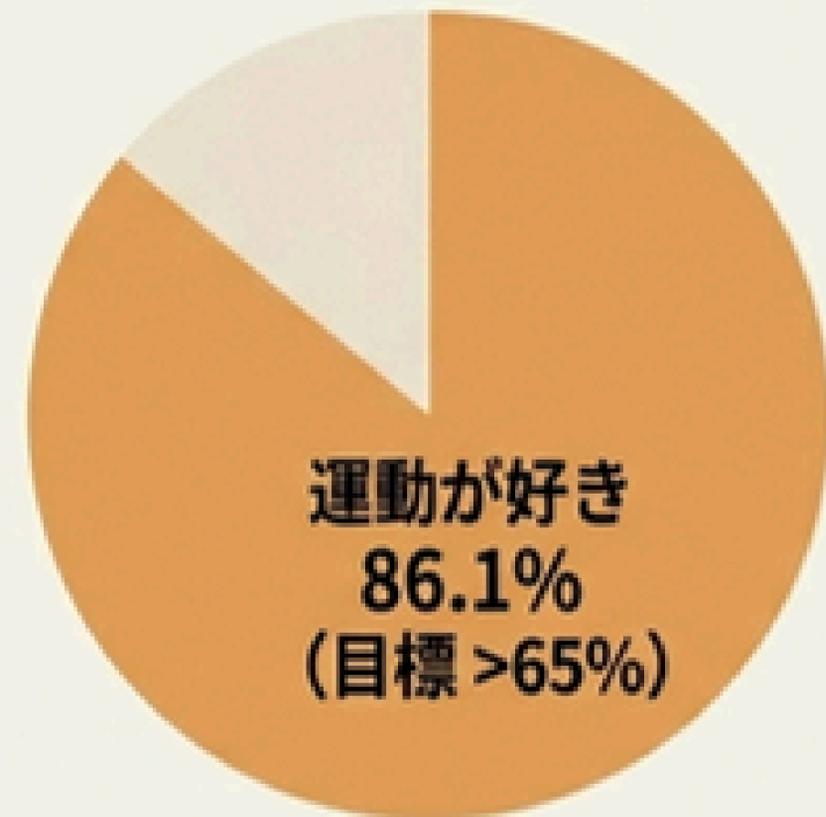
Academic Metric

59%

話し合い活動で考えを深めた
(目標 >40%)

↗ 目標を大幅に超過達成

Physical Metric



↗ 昨年度 (63.7%) から飛躍的に向上

【成果】 対話的な学びと運動環境の整備

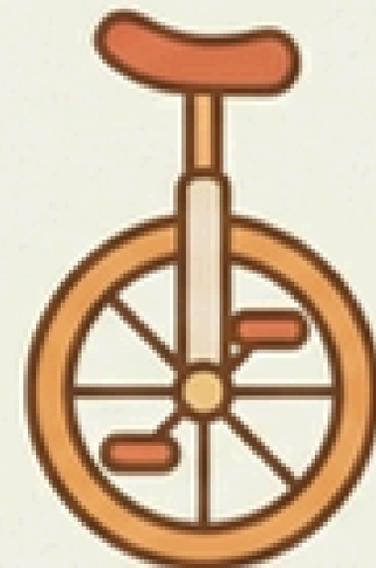
● 国語科研究の成果

3年間の継続研究により、全国学力・学習状況調査の結果が改善。話し合い活動の充実が実を結びました。



● 運動環境の充実

PTAの協力により、一輪車や竹馬を新設。休み時間に運動に親しむ児童が増加しました。



【課題】 学力の経年変化と体力・衛生面

● 学力の伸び悩み

「小学校学力経年調査」において、国語・算数の平均正答率（対全国比）が前年度より低下しました。

● 体力の二極化

体力テスト下位層（D・E判定）が全国平均を大きく上回る課題があります（男子58.8%、女子56.3%）。

● 衛生意識

手洗いは定着しましたが、ハンカチ・ティッシュ携行率は65%（目標80%未達）です。



【令和8年度に向けて】授業改善と楽しい仕掛け



研究の日を活用し、実技研修や伝達研修を強化して教職員の指導力を底上げします。



ジャンピングボード・バスケットゾーンを増設し、投力・跳躍力を高めます。



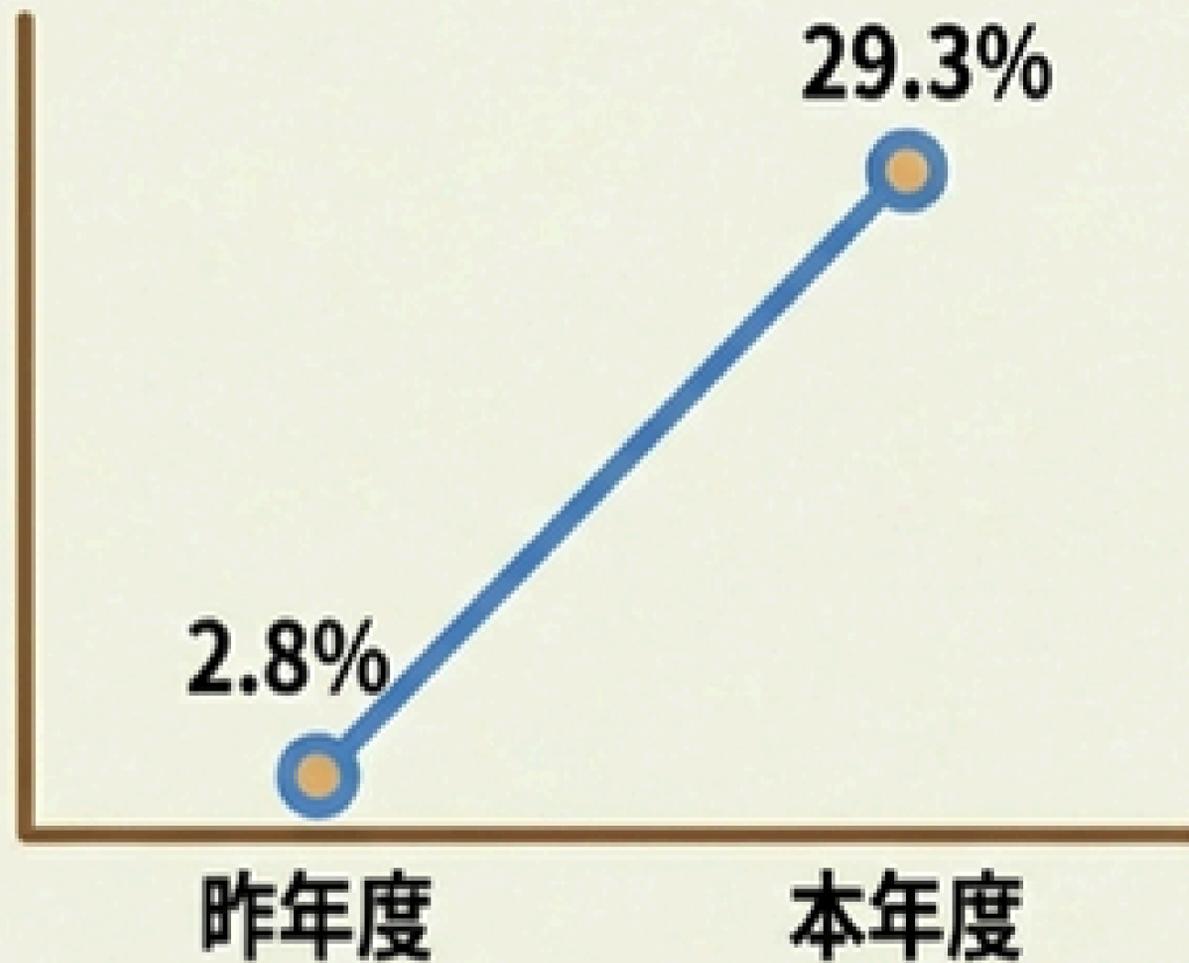
「ラッキーハンカチ作戦」や「ハンカチ遊び」を取り入れ、楽しみながら携行率80%以上を目指します。



3. 学びを支える教育環境の充実

DXの推進と働き方改革・地域連携

【指標評価】 ICT活用の飛躍と働き方改革



学習者用端末の活用日数
(約10倍の伸び)

80.8%

時間外労働時間数の基準達成率
昨年度 (77.7%) から改善

【成果】 地域連携の表彰と業務改善

● 地域連携の深化

地域の挨拶運動と図書館ボランティアの活動が評価され、平野区から表彰を受けました。

● 働き方改革

校時表の見直しと週1回の「ゆとりの日」設定により、時間外労働が大幅に減少しました。



【課題】 活用のばらつきと持ち帰り業務

- ICT活用の差

活用日数は激増しましたが、クラスや教員によって活用状況にばらつきがあります。

- 潜在的な業務負担

時間外労働は減りましたが、依然として「持ち帰り仕事」が多い実態が残っています。

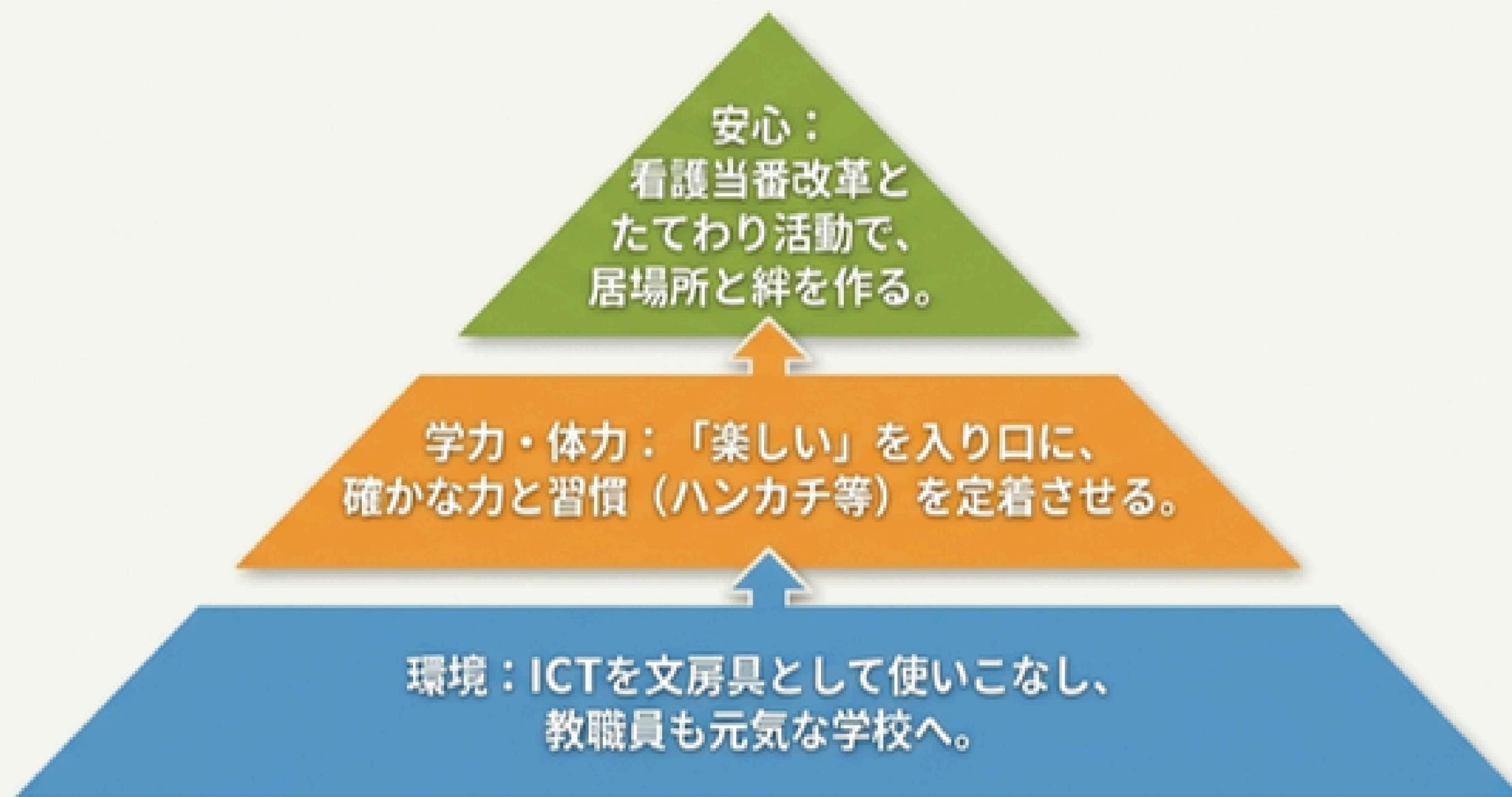


【令和8年度に向けて】ICTの日常化と環境改善



- **「心の天気」のルーティン化**
朝の会で端末入力を完全日常化。「デジタルは便利」と実感できる研修を行います。
- **さらなる校時変更の検討**
教職員が健康で、働きがいを感じられる職場環境を整えます。
- **「チーム加美」の継続**
家庭・地域との信頼関係を基盤に、安全な環境構築を続けます。

令和8年度 重点施策のまとめ



保護者・地域の皆様へのお願い



生活リズムの確立

「早寝・早起き・朝ごはん」とハンカチの携行にご協力ください。

地域での見守り

登下校時の挨拶や安全見守りへの継続的なご参加をお願いします。

学校との連携

困りごとは早めに学校・専門機関へご相談ください。

学校目標



「子ども笑顔のある学校」

学校・家庭・地域が手を取り合い、子どもたちの未来を共に創りましょう。